

## 2 . 研修用教材

# インターライ方式ケアアセスメント 詳細説明（実務者向け）

## I インターライ方式とは



## 「I インターライ方式とは」 目次

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 公式テキスト      | (スライドNo3-10)  |
| 2. クラウドサービス    | (スライドNo11-12) |
| 3. アセスメント情報の活用 | (スライドNo13-21) |
| 4. MDSユーザーの方へ  | (スライドNo22-27) |



## 1. 公式テキスト

インターライ方式の公式テキストは医学書院から出版されています

### 『インターライ方式ケアアセスメント（医学書院）』



インターライ方式 ケア アセスメント  
居宅・施設・高齢者住宅  
著：John N. Morris/ほか  
監訳：池上 直己  
翻訳：山田 ゆかり/石橋 智昭

判型 A4  
頁 368  
発行 2011年12月  
定価 3,990円（本体3,800円+税5%）  
ISBN978-4-260-01503-5

[医学書院ウェブサイトへ](#)

2

### (1) テキストの構成

#### ① アセスメント表

- 居宅版 (HC [Home Care])
- 施設版 (LTCF [Long Term Care Facilities])
- 高齢者住宅版 (AL [Assisted Living])

#### ② 記入要綱

選択肢を選ぶ際の注意点

#### ③ CAP

(臨床ケア指針：Clinical Assessment Protocols)

- 課題検討が必要な領域についてのガイドライン
- より詳細なアセスメントのポイントと対応方法を提示

3

## ① アセスメント表

- アセスメント表は、居宅版、施設版、高齢者住宅版から選択して利用できる
- 各版のアセスメント項目の6割は、コア項目としていずれの版にも共通している
- 選択した版にないが、他の版にあるアセスメント項目を、必要に応じて追加して利用できる

4

## 《アセスメント項目の例》

E1. うつ、不安、悲しみの気分の兆候

E1a. 否定的なことをいう

E1b. 自分や他者に対する継続した怒り

E1c. 非現実なおそれがある事を思わせる非言語を含む表現

：

これらの項目を下記の4段階でそれぞれ評価する

0.ない

1.あるが、過去3日間には見られていない

2.過去3日間のうち1～2日に見られた

3.過去3日間毎日見られた

5

## 《アセスメント表のセクション一覧》

A 基本情報	L 皮膚の状態
B 相談受付表	M アクティビティ
C 認知	N 薬剤
D コミュニケーションと視覚	O 治療とケアプログラム
E 気分と行動	P 意思決定権と事前指示
F 心理社会面	Q 支援状況（居宅版のみ）
G 機能状態	R 退院・退所の可能性（施設版のみ）
H 失禁	S 環境評価（居宅版のみ）
I 疾患	T 今後の見通しと全体状況（居宅版のみ）
J 健康状態	U 利用の終了
K 口腔および栄養状態	V アセスメント情報

6

## ② 記入要綱の内容

実施者によるアセスメント結果のばらつきが少なくなるよう、各選択肢を評価する際の基準を明確に提示

《記入要綱の内容の例》

### E1a. 否定的なことを言う

たとえば、「どうなってもいい」「こんな風に生きているなら死んだ方がまし」「長く生きたことを後悔している」「死なせて」など。同じ表現でなくてもよく、意味的に同じである点に留意。

7

### ③ CAP (キャップ)

アセスメント項目の選択肢の選ばれ方によって、利用者が抱えている課題領域の「CAP」が選定（トリガー）される

#### CAPを使ってできること

- 選定された課題領域を追求するため、より詳細なアセスメントに導いてくれる
- ガイドラインに沿って課題検討をすることにより、エビデンスに基づいたケアプラン(第2表)の「ニーズ」や「サービス内容」を書くことができる

8

### 《CAP課題領域の一覧》

CAP	思	症	性	CAP	思	症	性
<b>機能面</b>				<b>臨床面</b>			
1. 身体活動の促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16.転倒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. IADL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17.痛み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. ADL	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18.褥瘡	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 住環境の改善	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19.心肺機能	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 施設入所のリスク	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20.低栄養	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 身体抑制	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21.脱水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>精神面</b>				22.胃ろう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 認知低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23.検診・予防検診	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. せん妄	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	24.適切な薬剤使用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. コミュニケーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	25.喫煙と飲酒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 気分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	26.尿失禁	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 行動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	27.便秘	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 虐待	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<b>社会面</b>							
13. アクティビティ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
14. インフォーマルな支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
15. 社会関係	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
				計	26	22	15

9

## 2. クラウドサービス

- インターライ方式のアセスメントソフトは、特定非営利活動法人 ASP・SaaSクラウドコンソーシアム（略称：ASPIC [アスピック]）より提供される

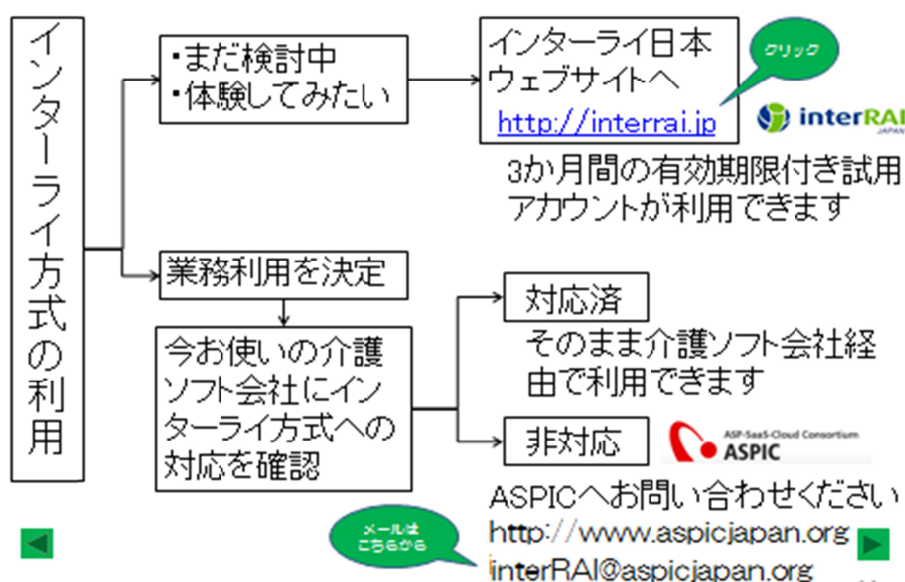


- ソフトウェアは、各事業者のコンピュータへのインストールはされず、インターネット経由でプログラムを利用するクラウド方式となる



10

### 《クラウドサービスの利用方法》



11

### 3. アセスメント情報の活用

インターライ方式のアセスメント情報を活用すれば、各事業所の利用者の全体像の把握やケアの質の管理に役立てることができます

- (1) スケール(Scale)
- (2) 介護QI(Quality Indicators)

12

#### (1) スケール(Scale)

《利用者の各断面を定量的に把握できる》

アセスメント情報から以下の4つのスケールが算出できる

**ADL-H**

ADL機能障害  
(7段階)

**CPS**

認知機能障害  
(7段階)

**DRS**

うつの状態  
(0-14点)

**PAIN**

痛みの状態  
(5段階)

《スケールの長所》

- 要介護度よりも、広範かつ精緻に利用者の状態変化が把握できる
- 自動集計によって事業所の利用者構成の特徴や変化を把握できる

13

## (1) スケール(Scale)

《事業所間の比較への活用》

- ① スケールによって事業所の利用者構成の特徴を示す
- ② スケールの構成比のトレンドを比較する

(例) ADL最大援助(ADL-H5以上)の利用者の割合(%)

	2011/12	2012/6	2012/12
事業所①	15.8	16.2	15.7
事業所②	23.1	25.5	28.9
事業所③	8.5	9.2	9.1
事業所④	16.7	15.5	13.3

特に悪化している事業所に対してADLに関する研修会を行うなど、具体的な対策のために活用できる



14

## (2) 介護QIによるケアの質の評価

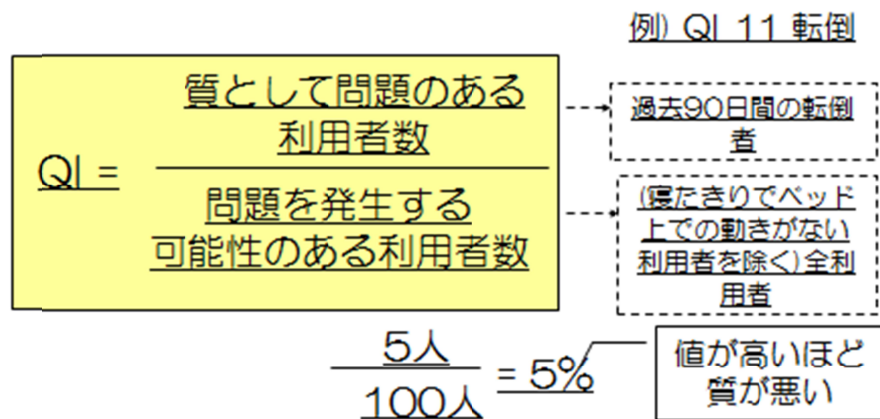
- 入力されたアセスメントデータを二次利用して、各事業所のケアの質を評価する手法で、**介護QI (Quality Indicators)**と呼ばれている
- 他の事業所とケアの質を分野ごとに比較できる
- 当該介護QI分野の値を悪くしている利用者を特定し、ケアプランを見直すことができる
- 法人としてインターライ方式を統一的に利用すれば、ケアの質の「評価」と「改善」を1つのツールで実現できる



15



## 《介護QIの計算の基本的な考え方》



16

## 《介護QIの評価の対象分野 [居宅版] 》

(1) 不適切な食事	(12) 社会的孤立
(2) 体重減少	(13) 認知障害の悪化
(3) 脱水	(14) せん妄
(4) 薬剤の非管理	(15) 気分の落ち込み
(5) 尿失禁の悪化	(16) コミュニケーション障害の悪化
(6) 皮膚潰瘍の悪化	(17) 重度の痛み
(7) 補助具の不使用	(18) 疼痛管理の不十分
(8) リハビリなし	(19) 虐待
(9) ADLの悪化	(20) 事故
(10) 屋内移動の悪化	(21) インフルエンザワクチン未接種
(11) 転倒	(22) 入院

17